



ID: 1304

科目名	建築設計 I 【26年度生用】			コード			
英語表記	Elements of Design and Principles of Design I						
担当教員名	田島 文隆			年度	平成26年度		
基準年次	2年次	開講期	前期		単位数		
授業形態	演習	授業形式		履修形態	必修		
授業概要							
<p>建築設計の表現方法である線や製図記号の習得を目的としている。建築を志す者にとって、設計製図は必修である。基本的な製図の習得の後、建築設計に必要な製図規約・表現手法等を学ぶ</p>							
到達目標							
<p>1. 建築設計製図に用いられる線や記号の種類と意味を理解し実際に描く。2. 建築図面のコピーを通して建築空間と設計図の対応関係を理解する。3. 各図面において、その表現方法を理解し、製図する。</p>							
授業計画							
第1回	製図用具の使い方・名称と種類						
第2回	線の練習 太さ・種類を描き分ける						
第3回	" 様々な図形を、様々な線種を使って描く。						
第4回	木造住宅の設計図面を、コピーする。 ー平面図						
第5回	"						
第6回	" ー断面図						
第7回	"						
第8回	開口部(扉、窓、など)の原寸把握、表現						
第9回	"						
第10回	"						
第11回	立面図のコピー						
第12回	敷地配置図、仕上げ表						
第13回	雑詳細図の習得						
第14回	"						
第15回	エスキース						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
課題に対して理解力、表現力を総合評価する。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				50	50		製図能力
授業外学習			テキスト、教材				
主として製図室での作業とするが、自宅での予習・復習をしておかないと時間内に十分な理解と習得は出来ない。			課題内容の資料を講義演習時に料付する				
参考書			受講生へのメッセージ				
「コンパクト建築設計資料集成」 日本建築学会編 丸善			CADが普及した昨今であるが、建築士資格試験では計画性とともに、製図版での作図能力が要求される。又、実務の上でも手書きの技術は必ず生きてくる。ここで確実に身につけよう。				
キーワード							